

ふれあい

あけましておめでとうございま  
す。県民の皆さまには、輝かしい新  
春をお迎えのこととお喜び申し  
上げます。  
私は知事就任以来、目指すべき  
県土像として「誇れる郷土 活力  
ある山梨」を掲げ、その実現に向  
け、全力で取り組んでいるところ  
です。  
「誇れる郷土 活力ある山梨」  
とは、美しい自然環境の中で、産  
業が力強く躍動し、喜びに満ちあ  
ふれた暮らしが営まれ、活発な交  
流が展開する社会です。  
こうした社会づくりに向けて  
は、何といたっても県民の皆さまの  
声を県政に的確に反映し、県民あ  
げて参画する県政を推進するこ  
とが大切です。  
このため、各種審議会・委員会  
などを通じさまざまな分野から

知事から一言

— 新年のあいさつ —

山梨県知事 山本 栄彦



ご意見をちょうだいするのをはじ  
め、私自身が直接出向いてさま  
と意見交換を実施するなど、あら  
ゆる機会をとらえて県民の皆さ  
まの声を聴き取れるよう努め  
ております。  
また、県の施策をできるだけ分  
かりやすく伝えるため、各種  
広報や県ホームページの充実を  
図るとともに、職員が直接出向い  
て施策を紹介する「県政出張講  
座」も開設しております。  
これらの取り組みを通じ県民  
の皆さまの県政への参画をより  
一層推進し、皆さまとともに二十  
一世紀にふさわしい新しい山梨・  
甲斐の国を創りあげていきたいと  
考えています。  
この一年が県民の皆さまにとり  
まして実り多い年となりますよ  
う心から祈念し、年頭のあいさつ  
といたします。



皆さんの声をお聴かせください。

県民誰もが生き生きと暮らせる活力ある山梨を実現する  
ため、県民の皆さんの声を県政に反映し、県民ニーズに的  
確に対応した質の高い行政サービスの提供に努めていき

01  
02  
01, 02:ともに「こんにちは、知  
事です」(笛吹市)開催の様子



特集  
New Year's  
Special Issue.  
Letting  
Yamanashi  
Citizen's Voices  
be Heard.

県では、さまざまな場面で  
県民の皆さんの声をお聴きしています。

○みなさんの声を県政に反映

長期計画の策定や実施に当たっては、産  
業、教育文化、福祉医療などの各分野の専  
門家はじめ県内各地域や女性・青年の代  
表者で構成される長期計画審議会を開催  
し、ご意見やご提言をいただいています。  
昨年十月には、「活力ある山梨の実現に関し  
て必要な事項」について、答申をいただき、現  
在、これを踏まえ、新たな施策・事業について  
検討を進めています。

また、今月末には、百二十一人の新委員を委  
嘱し、「創・甲斐プラン21」の実施に関し、ご  
意見をいただく予定です。

○知事との直接対話

知事対話「こんにちは、知事です」や「子育  
てトーク」知事を囲む小中学生の集いなど  
は、知事が直接、県民の皆さんとひざを交  
えて自由に意見交換を行うものです。  
また、地域で活動しているさまざまな団  
体や特色ある施設、事業所などを訪問し、  
活動状況などをお聴きしながら、幅広い意  
見交換も行っています。

○各種事業のなかでの「広聴」

「知事への手紙」や「県政出張講座」などの各  
種事業を通じて県民の皆さんの声をお聴か  
せただけのよう努めています。  
また、パブリックコメント制度を活用し、  
折々にテーマを定め広くご意見を求めたり、  
パブリックインボルブメント(住民参画)によ  
り計画策定を行っています。



01 02  
03  
01:「子育てトーク」(都留市)会場でのコマ  
02:長期計画審議会総会の様子  
03:県民情報センターに置かれた「県政ポ  
スト」

ふれあい



笛吹市の河野さんから、知事対話に参加した感想をお聴きました。

石和温泉旅館組合女性部長 河野陽子さん

知事と直接お話しできるまたない機会ということで、期待して参加させていただきました。私たち県民がどのようなことを考えているのか、しかに話をするのができたことは、知事との距離も近くなったように思え、貴重な体験となりました。今後もっとこのような機会を増やしていただいて、行政と民間が一体となって山梨県を盛り上げていくことができたら素晴らしいと思います。

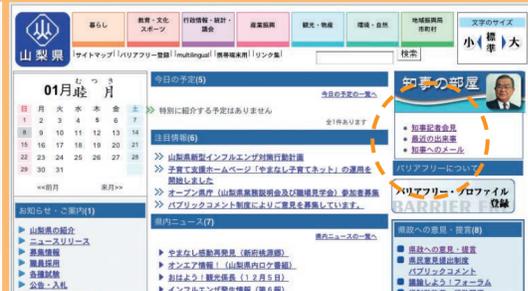
**発言** 新山梨環状道路の整備計画を教えてもらいたい。  
**回答** 東側区間については一年かけて住民の皆さんの意見をうかがい、ルートのご概略計画を取りまとめます。その後、環境影響調査を三年かけて行い、都市計画決定を経て事業化する予定です。  
**発言** 高齢者福祉に対する方針を伺いたい。  
**回答** 県では、来年度から三年間にわたる高齢者施策の指針となる「高齢者保健福祉計画」を策定中です。の中には生涯学習の推進、老人クラブに対する支援、ことばきマスター制度の

活用や就業機会の充実などを盛り込む予定です。  
**発言** 富士山麓におけるゴミの不法投棄の対策を要望したい。  
**回答** 現在、県では、富士山世界文化遺産登録山梨県推進本部を組織し、世界文化遺産の登録に向け取り組んでいます。このためには富士山の美化は大切であり、「富士山レシヤ」をはじめボランティアの方々にもご協力いただき、不法投棄の監視などをしていきます。こうした活動にできるだけ大勢の方が参加され、多くの県民の目で監視すれば、不法投棄は減らすことができます。

# 知事への手紙



01



02

01: 県庁本館受付に置かれた「県政ポスト」 02: 県ホームページ(<http://www.pref.yamanashi.jp/>)の「知事へのメール」

**02**  
 New Year's Special Issue.  
 Letting Yamanashi Citizen's Voices be Heard.

県民の皆さんから県政に対するご意見やご提言を受け付けています。「知事への手紙」専用紙・封筒を備えた県政ポスト(写真:01)を県の施設、市役所や町村役場、農協などに設置していますので、ご利用ください。また、県ホームページの「知事へのメール」(写真:02)からもご意見をお寄せいただけます。今年度は、道路整備や雇用対策に関するご質問、福祉や観光政策に関するご提言をはじめ、県の業務に関するさまざまなご意見をいただいています。県民の皆さんからの率直なご意見、ご提言をお待ちしています。



## 知事対話 こんにちは、知事です

文化協会陶芸部養生クラブ(山中湖村)訪問の様子

**01**  
 New Year's Special Issue.  
 Letting Yamanashi Citizen's Voices be Heard.



山中湖村で行われた「こんにちは、知事です」の対話風景。当日は、およそ90人が会場を訪れ、活発な意見交換が行われた。

県民の皆さんと直接意見交換をします。

知事が市町村を訪問して地域の課題や県政への要望などについてお聴きし、県民の皆さんと直接意見交換を行っています。県民の皆さんからの意見や疑問にお答えし、ご意見、ご要望のうち、可能な事柄から県政に反映していきます。

**発言** こんにちは、知事です」の中の意見交換の概要  
**発言** 遊休農地への対策を伺いたい。  
**回答** 県では、地域提案型遊休農地活用推進事業を立ち上げています。三人以上の農家がグループを組んで概ね二ヘクタール以上の遊休農地を活用していくという条件を満たす必要がありますが、事業化については役場や農協と協議し、県に相談してください。  
**発言** 観光支援について伺いたい。  
**回答** 温泉や果樹、また県立博物館など県内各地にあるいろいろな観光資源をつなぎあわせていくと相乗効果をもたらすと思います。そのために県や市町村で受け持つべきものは、しっかり受け持っています。同時に、地域を一番よく分かっている住民の皆さんが主体になって行政を有効に活用していくことが観光振興の最良の方法だと思います。

## ふれあい

県政出張講座には、たくさんの方が参加していただき、ご意見を伺っています。ご参加いただいた方には、お礼状を送らせていただきます。ご参加いただいた方には、お礼状を送らせていただきます。



01



02



03

01:村松理恵さん 02:津波古麻紀さん 03:山梨温泉病院で行われた講座「防災の心構え」では、およそ100人の方が受講し、予想される災害への備えや心構えについて真剣に耳を傾けていた。

山梨温泉病院で開催された講座「防災の心構え」に参加したお二人に、感想を聴きました。

今回私たちは、もしもの場合に少しでも参考になればと思います。防災についての講座に参加させていただきました。

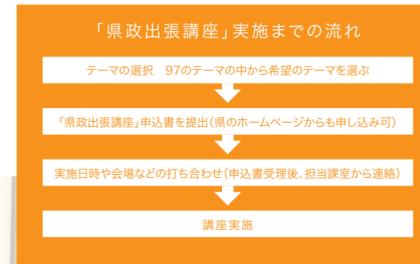
山梨は県民一人ひとりの災害に対する認識が低いと思います。お話を聞いて、今まで山梨では災害が少なかったこと、また、いずれ来るのが予想される災害のことなどが詳しく分かり、大変参考になりました。災害に遭った時に、災害への知識が不足していることはとても恐ろしいことだと感じています。

また、災害時の、どんな状況のときにどこへ問い合わせたらいいのか、そうした行政内部のことも聴くことができ、大変有意義でした。

今回参加できて非常に良かったです。

## ●主な講座テーマと内容(全97テーマ)

●県政一般(全5テーマ)	
山梨県の行財政改革	山梨県行財政改革プログラムの概要
●時代を生き抜く力強い産業の振興(全20テーマ)	
食のやまなし地産地消	地元で生産された食材を地元で消費する地産地消県民運動の取り組み
●環境日本一やまなしの確立(全20テーマ)	
地球温暖化対策の推進	地球温暖化の現状や原因、影響およびその解決に向けた対策や取り組み
●明日を拓く人づくり・文化づくりの展開(全16テーマ)	
山梨県における高校制度	総合学科高校や全日制単制制高校など新しいタイプの高校のしくみや入学者選抜制度のしくみなど
市町村合併	市町村合併の状況と今後の動向
男女共同参画の推進	男女共同参画社会の実現に向けての法律や条例、推進状況など
●安全・安心に暮らせる社会の形成(全26テーマ)	
健康長寿やまなしプラン	高齢者の保健福祉施策に関する「健康長寿やまなしプラン」の概要と施策の方向
賢い消費者となるために	消費生活相談体制の現状や相談事例とその対応策など
犯罪被害防止対策	県内の犯罪発生状況やその特徴、犯罪被害に遭わない方策、女性・子供などを犯罪から守る方策など
防災の心構え	東海地震、南関東地域直下の地震や富士山火山などに関する防災意識の啓発
●快適な生活と活発な交流を支える基盤の充実(全10テーマ)	
山梨の下水道	下水道の役割やしくみと効果、歴史、普及状況、各地域における下水道事業の取り組み
山梨の道づくり	山梨の道路の現状や今後の整備方針、地域高規格道路の整備、有料道路事業



県民の皆さんに県政への理解をより一層深めていただくとともに、県民の皆さんのニーズを把握し県政に反映するため、県職員が「出向いて県の施策などについてご説明し参加者と意見交換を行います。受講申込用紙は、各地域振興局企画振興部や市役所、町村役場などに配置してあります。

03

New Year's Special Issue.  
Letting Yamanashi Citizen's Voices be Heard.



# 県政出張講座

### ○対象

県内に在住・在勤または在学している方で、おおむね二十人以上が参加して実施される、自治会・企業・サークルなどの集まりです。

### ○講座のテーマ・費用

県が現在取り組んでいる重要な施策や県民の皆さんの関心が高い事項など、現在、九十七のテーマをご用意しています。

県職員の派遣および資料に係る経費は無料ですが、会場設営などに係る経費は申込者でご負担ください。

### ○実施日時

実施日は原則として平日ですが、特にご要望がある場合は土曜日・日曜日・祝日も実施します。時間帯はおおむね午前十時から午後九時までです。

### ○申込方法

希望する日のおおむね一月前までに申込用紙に必要事項を記載のうえ、郵便・ファックスまたは、持参により県広聴広報課へお申し込みください。なお、県ホームページから

ふれあい

山梨県から県民の皆さんへ  
**広報番組・広報誌・ホームページは  
 HOTな情報が満載！！**

テレビ番組

県が特に力を入れている取り組みなどを中心に、多くの県民の皆さんに登場していただきながら、「動きのある・見せる映像」で楽しく分かりやすい番組制作に努めています。

山梨放送



●YBSテレビ  
 「やまなしToday」  
 毎週日曜日  
 午前7:30～7:45



テレビ山梨



●UTY  
 「It's山梨!」  
 毎週土曜日  
 午後5:50～6:00



「清水園明のやまなし再発見」と「へい!キッズ」は2カ月に1度の放送

ラジオ番組

●YBSラジオ「爽快やまなし!NOW」  
 毎週土曜日 午前11:30～11:45  
 県が行っている事業や地域に密着した耳よりの情報をお伝えしています。



広報誌

●県政だより「ふれあい」  
 原則毎月1日に、山梨日日新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞の全15段(1ページ)に掲載しています。県民生活に密着した情報をタイムリーにお伝えしています

●県政だより「ふれあい」特集号  
 ご覧いただいている冊子が、県政だより「ふれあい」特集号です。写真、イラストを使用し、県の各種施策などを分かりやすくお伝えするよう努めています。

ホームページ

●インターネットの双方向性を生かした情報発信を行っています。  
 掲載内容/県内ニュース、知事記者会見、各所属業務内容、パブリックコメント制度によるご意見の募集、知事へのメール、外国語ホームページ、やまなし子育てネットなど  
<http://www.pref.yamanashi.jp/>

●お問い合わせ: 広報広報課 / TEL 055-223-1336 FAX 055-223-1525 Eメール kouho@pref.yamanashi.lg.jp

県民の声に耳を傾けて

とりよう  
**岩手県杜陵小学校との  
 「やまなしの木」の  
 エピソード**



県総合政策室(現政策秘書室)に二本の電線がありました。  
 『岩手県の知り合いがやまなしの木』を探している...』と。

平成十六年春、岩手県盛岡市立杜陵小学校では、卒業を迎える六年生が、学校に残す卒業記念品を何にするかの相談をしていました。そのとき国語の時間に学習した宮沢賢治作の「やまなし」が話題に上りました。みんな、宮沢賢治の童話や生き方にもあこがれていたのですね。やまなしの木を記念品として学校に残したいと考えました。

そこで、杜陵小学校の校長先生が、山梨県高根町の知り合いに連絡を取りました。

「どこかで、やまなしの木は手に入らないだろうか。山梨県ならきつとやまなしの木があると思つて。」

この相談の内容を県に伝え、たことから今回の交流が生まれました。電話を受けた県の職員は、心当たりのあるところに順番に問い合わせ



せていきました。結果、県の緑化センターに苗木があることが分かりました。早速、この件を知事に報告したところ、植えるのに適している五月に苗木を贈ることになり、その旨を伝える手紙を送りました。

杜陵小学校の卒業式では、山本知事から送られた「やまなしの木」の苗木の目録とメッセージが披露されました。その年植えられた苗木は今、しっかりと根付いています。

宮沢賢治と韮崎市出身の保坂嘉典との交流、盛岡の南部公が甲斐源氏の一族であることなど、昔から岩手と山梨はさまざまな交流があります。県民の声から生まれた今回の交流の輪。これをきっかけにして、卒業生にはいつの日にか、「やまなしの花」が咲くころに山梨県を訪れていただきたいものです。

写真: 杜陵小学校に植えられた「やまなしの木」